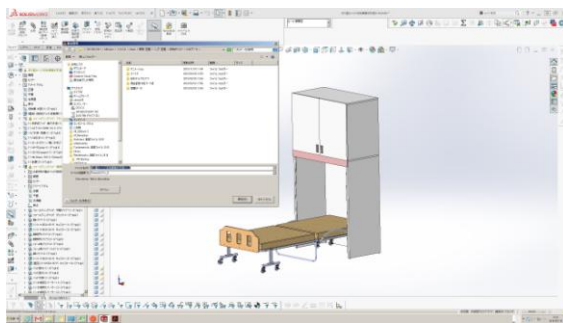


設計・製造分野で、機械系 CAD と建築系 CAD を融合した CAD ソリューションを展開 ～空間に商品を組み込んだイメージや活用シーンを演出～

キャノンマーケティングジャパングループのキャノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神森 晶久、以下キャノン ITS）は、このほど機械系 CAD の SOLIDWORKS と建築系 CAD の Vectorworks を融合し、空間に商品を組み込んだイメージや活用シーンを演出する CAD ソリューションを、2016年5月30日より建築設計業や機械製造業を中心に提供を開始します。



SOLIDWORKS の設計画面



SOLIDWORKS と Vectorworks のデータ連携

近年、日本国内の CAD 市場は設備投資の増加により年々拡大し 3000 億円を超える規模となり、順調な設備投資や公共事業投資により機械系 CAD 市場も建築系 CAD 市場も好調です。キャノン ITS は、1994 年より CAD/CAM/CAE/PDM のソフト販売からコンサルティングまでを手掛け、設計・製造分野において 3D ソリューション事業を展開してきました。このほど、3D データの活用領域の拡大を目的に、機械系 CAD と建築系 CAD を融合することで、想定した空間やシーンに合わせた商品のイメージやレイアウトが簡単にできる CAD ソリューションを展開します。

キャノン ITS は、本ソリューションを医療機器、介護用品、防犯防災用品などの商品を取り扱う株式会社三和製作所（以下三和製作所）に先行導入しました。三和製作所は、特に学校向けの商品を多く取り扱い、顧客の要望に応じて自社開発製品も手掛けており、2015 年には設計担当部署を新設し、設計担当者も増員しました。近年、商品単体だけでなく備品一式を納入する案件が増え、事前に商品の配置や寸法の確認を図面で行いたいという顧客からの要望を受け、部屋の内装の写真と商品データを合成したり、建築系 CAD ではない SOLIDWORKS でレイアウトをパースのように見せるなどの提案を行っていました。平面図やパース作成のために建築系 CAD の導入も検討しましたが、複数 CAD の併用においては、データ互換が難しいことが課題でした。本ソリューションを導入することで、簡単に商品をレイアウト図面やパースで表現することができ、商品が置かれる環境やシーンなど空間全体を視覚化して顧客に使用感覚をイメージしてもらえようになり、商品の制作や販売だけでなく空間のプロデュースなど営業提案の幅が広がりました。

CAD ソフトウェアは、製品ごとに File 形式が異なるために、他社の CAD で作ったデータを違う CAD ソフトウェアに取り込むことが難しく、中間ファイルを作成して取り込んでも、一部の線や面、色、テクスチャーなどのデータが抜け落ちてしまうことが大きな課題でした。本ソリューションでは、機械系 CAD の SOLIDWORKS と建築系 CAD の Vectorworks が同じコアエンジンを採用している特性を活かし、共通の File 形式である「Parasolid X_T」を使い、双方のデータのスムーズな取り込みを実現しています。具体的には、機械系 CAD の SOLIDWORKS で備品の CAD データを作成し、建築系 CAD の Vectorworks で作成したレイアウト図面やパース図に備品の CAD データを取り込むことで、想定した空間やシーンに合わせた商品のレイアウト図面を簡単に作成できます。

キヤノン ITS は 2014 年に、建築・意匠分野の 3D CAD ソフトウェア市場において高い評価を受ける「Vectorworks」の国内販売を手掛けるエアンドエー株式会社をキヤノン MJ グループに迎え入れ、お互いの顧客基盤を活用して 3D 関連事業のコンサルティングから構築、運用サポートを行っています。今後、本事例をはじめ、製造業で培った CAD の豊富な実績とノウハウを活かし、設計、施工、プレゼンテーションで 3D データの業務活用が進む建築設計業や機械製造業への販売展開を強化し、2017 年には CAD や 3D 関連製品を含めた 3D ソリューション事業においてキヤノン MJ グループ全体で売上 150 億円を目指します。

サービス名/サービス内容	価格（税別）	発売日
設計製造業向け CAD ソリューション ◆ソリューションの構成 CAD パッケージソフトウェア（SOLIDWORKS, Vectorworks） 導入支援サービス、初期教育、保守等 ※要件に応じて構成内容をカスタム提案します。	150 万円～	2016 年 5 月 30 日

■「キヤノン 3D ソリューションフェア 2016」で紹介

キヤノン ITS とエアンドエー株式会社は、「キヤノン 3D ソリューションフェア 2016」で本事例を紹介します。

日時：2016 年 5 月 19 日（木）

場所：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 キヤノン S タワー 3F

概要：

「キヤノン 3D ソリューションフェア」は、3D プリンターの活用用途が広がる製造/建設/教育分野のお客さまが抱える 3D に関する課題解決を目的に、最新の 3D 技術を「見て」「聞いて」「確かめる」ことができる構成になっています。パーソナルからプロダクション分野までのスリーディー・システムズ社製 3D プリンターをはじめ、多岐に亘る関連製品や先端技術の展示に加え、その運用ノウハウなどをセミナーで紹介します。

URL：<http://cweb.canon.jp/seminar/bs/3d-fair.html>

■株式会社三和製作所

本社所在地：東京都江戸川区中央4-11-8 アルカディア親水公園ビル 2F

代表取締役社長：小林 広樹

事業内容：

医療介護を中心に健康・医療介護福祉向け商品を展開するメディケア事業、緑化・園芸ガーデニング・環境分野へ商品展開するグリーンエコ事業、防犯、防災に関する商品を展開するセーフティ事業を中心に商品製作から販売までを展開

URL：<http://www.sanwa303.co.jp>

● 報道関係者のお問い合わせ先：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

コミュニケーション推進課 03-6701-3603

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

エンジニアリングソリューション事業本部 企画部 03-6701-3449

● 3D ソリューション紹介ページ：<https://www.canon-its.co.jp/solution/3d/>
